

5 熟語の組み立て

p.68

5-1 解説

熟語の組み立て

「熟語」とは、二つ以上の漢字が組み合わさって、一つのことばになったものです。熟語の組み立てには、次のようなものがあります。

- ① 似た意味の漢字を組み合わせたもの。
[例] 通行(通る=行く)
- ② 反対の意味や対になる意味の漢字を組み合わせたもの。
[例] 大小(大きい⇔小さい)
- ③ 上の字と下の字が主語・述語の関係になっているもの。
[例] 国立(国が立てる)
- ④ 上の字が下の字を説明したり、限定したりするもの。
[例] 新年(新しい年)
- ⑤ 下の字が上の字の動作や作用の対象になっているもの。
[例] 消火(火を消す)
- ⑥ 同じ字を重ねたもの。(「々」を使うこともあります)
[例] 人人(=人々) 国国(=国々) 口口(=口々)
- ⑦ 上に「不・無・非・未」が付いて、下の字の意味を打ち消しているもの。
[例] 不安 無口 非常 未来
- ⑧ 下に「性・然・的・化」が付いて、意味をそえているもの。
[例] 油性 歴然 公的 老化
- ⑨ 長い熟語を省略したもの。
[例] 特急(特別急行)